大月町 議会だより

95号

11月臨時会
12月定例会

平成31年2月1日発行　高知県大月町議会

新しく生まれ変わったデイサービスさんごは、1日の利用定員を20名から30名に増員し、障がいのある方も利用できる施設として施設機能も拡充し、平成30年12月26日に開所しました。

利用等については、社会福祉協議会までお問い合わせください。

☎0880-73-1119

（大月町社会福祉協議会）

静養室には5台の自動ベッドを完備

11月臨時会

平成30年11月臨時会は12日の１日の会期で開き、補正予算１件、請負議案１件、条例１件の計３件を審議し、原案のとおり可決しました。

12月定例会

平成30年12月定例会は13日から18日までの会期で開き、陳情１件、意見書２件、契約１件、条例８件、補正予算10件を審議し、原案のとおり可決しました。

その他、委員長報告２件、契約変更報告１件がありました。

一般質問は３人が登壇し、執行部をただしました。

もくじ

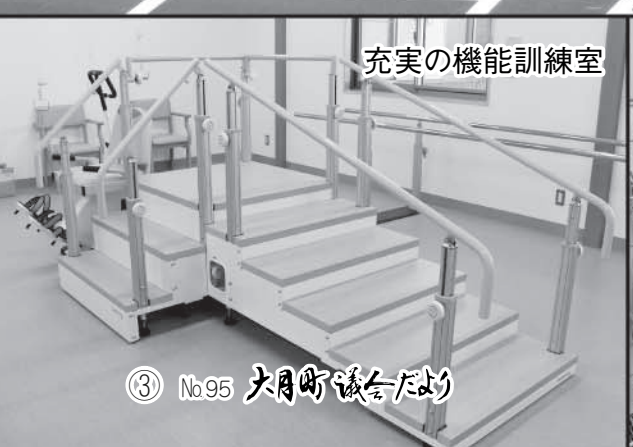
Ｐ２　デイサービスさんご完成
Ｐ４　臨時会
Ｐ５　定例会
　Ｐ５　補正予算･契約変更
　Ｐ６　条例・意見書
　Ｐ７　委員会報告
　Ｐ８　一般質問
Ｐ11　みんなの広場
Ｐ12　こんにちは

表紙写真によせて

1月6日の消防出初式では、女性防火クラブによる炊き出しが行われました。

あったか～い豚汁に、身も心もあったまりました。

デイサービスさんご 堂々完成



充実の機能訓練室

誰もが使いやすい
入浴施設

統合保育所建設に向け

旧大月分校校舎等解体

統合保育所の用地として、昨年４月に県から無償譲渡を受けた旧大月分校。今年度中に解体工事を完了し、31年度に建設、32年度開所の予定です。

◇旧大月分校校舎等解体工事請負契約
契約金額　７０５７万８０００円
相手方　久米建設株式会社
契約期間　平成31年３月25日まで
【全員賛成】

専決処分

◇大月町通所介護施設備品購入契約の変更
〈契約金額〉
変更前　８８４万８８７２円
変更後　９４０万　８７１円
変更額　55万１９９９円
〈変更の理由〉
施設利用者増により、ベッド・歩行器を各2台追加購入するため。

補正予算

◇一般会計
６７９万５０００円を増額補正
〈補正内容〉
・ホテルベルリーフ大月の複合受信機の修理　３１３万２０００円
・総合グラウンドトイレ新設工事費の増額　３６６万３０００円
【全員賛成】

条例一部改正

◇町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例
町長の給料を2カ月間、１００分の10減額するもの。
【全員賛成】

pick up!

一般会計補正予算 主な使い道

柏島情報発信拠点施設整備工事　3170万円

駐車場の整備内容変更に伴う増額。

災害復旧費 1億3815万円

７月豪雨災害の被災箇所等の全体概要がまとまったことによる増額。

経営体育成支援事業費補助金　2788万円

被災した農業者に、農業施設や機械の復旧費等を支援。

問 災害復旧費における国の補助金６億円は、激甚災害を考慮した補助率で積算したものか。

答 補助率が確定していないため、通常の補助率で積算しています。

問 土木費の災害測量設計委託料１０００万円の内容は。

答 がけ崩れ住家防災対策事業として25件を予定しています。

平成30年度　12月補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		2億1219万円	66億771万円
特別会計	特別養護老人ホーム	△365万円	3億4312万円
	国民健康保険	28万円	10億989万円
	水道	1615万円	3億5361万円
	介護保険	△20万円	8億2254万円
	後期高齢者医療	24万円	9561万円
	給与等集中処理	△581万円	9億7122万円
病院事業会計		3626万円	6億557万円

契約変更

◇大月町通所介護施設新築工事（専決）

〈契約金額〉

変更前　２億７１２９万６０００円

変更後　２億７６２１万０００円

変更額　４９１万４０００円

〈変更の理由〉

舗装面積を増やし、ウッドデッキの南側にスロープ、各所に手すりを設置するため。

◇橘浦漁港機能高度化工事

〈契約期間〉

変更前　平成30年６月21日から平成31年１月16日まで

変更後　平成30年６月21日から平成31年３月31日まで

延長日数　74日

〈変更の理由〉

７月豪雨の応急対策活動や、たび重なる台風接近により工期内の完成が見込めないため。

【全員賛成】

条例

住宅

◇特定優良賃貸住宅設置及び管理条例の一部改正

隣接して地域優良賃貸住宅が建設されることによる変更。

名称　成ヶ丘第1団地
住所　大月町姫ノ井1816番地13

【全員賛成】

◇地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の制定

現在建設中の地域優良賃貸住宅（成ヶ丘第2団地）に関する条例。

【全員賛成】

成ヶ丘第2団地

■入居要件
・子育て世帯（妊娠中もしくは18歳未満の者がいる世帯）
・新婚世帯（婚姻して5年以内の世帯）
※所得基準に該当すること

■家　賃　3万5000円
■敷　金　家賃の3カ月分
■その他　オール電化、バリアフリーなど最新の設備を備える

最新の設備を備えた住宅に整備

観光

◇観光情報発信センターの設置及び管理に関する条例の制定

【全員賛成】

問 柏島観光情報発信センターの駐車場料金は1台につき500円とあるが、短時間の利用でも同額か。また、バイクの場合は。

答 駐車時間に関わらず駐車すれば1台500円です。バイクは1区画500円を予定しています。

夏場の路上駐車解消に期待が寄せられる

給与

人事院勧告に基づき引き上げを行うもの。

◇一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

◇一般職に属する技能職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正

◇議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

◇町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部改正

【全員賛成】

税

◇大月町税条例の一部改正

「再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」の改正による。

【全員賛成】

意見書

◇待機児童解消、保育士の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書

◇公共事業等における国産材（地域材）の利用推進を求める意見書

【全員賛成】

関係省庁に意見書を提出しました。

委員会審査報告

各委員会に付託された請願および陳情の審査結果を報告します。

産業建設 常任委員会

橘浦地区より提出

「豪雨災害に対する抜本的な早期対応を求める請願」

〈審査結果〉一部採択すべきもの

【全員賛成】

採択する9項目

- 網代川上流及び奥地区水路上流の砂防ダムの早期建設
- 砂防ダム建設に供する作業道敷設
- 網代川の道路整備
- 奥地区水路の道路整備
- 奥地区水路の排水対策
- 轟川の早期復旧
- 稲荷山の地滑り対策
- 町道高望線崩落地の復旧
- 轟川橋流域の生活道復旧

区長より被災箇所の説明を受ける

対応済みの2項目

- 轟川ダムの堆積物除去
- 各河川上流の山崩れや流域の護岸の復旧および河口の土砂撤去等

対応が困難な2項目

- 避難タワー建設
- ヘリポート建設

13項目の要望のうち、9項目を採択しました。

総務厚生 常任委員会

◇臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情

〈審査結果〉

不採択とすべきもの

誰でも臓器移植を受けられるようにするためには、本質的な問題を再確認しなければならないと判断し、不採択とすべきものとする。

【全員賛成】

◇待機児童解消、保育士の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情

〈審査結果〉

採択すべきもの

人口減少の課題解決および子育て環境の充実を図るために、採択すべきものとする。

【全員賛成】

12月定例会の傍聴者は

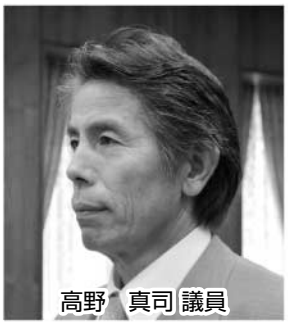
23名でした。

次回定例会は**3月**の予定です。

傍聴のお問い合わせは

議会事務局までお願いします。

（電話：0880-73-1682）


高野　真司 議員

地方創生総合戦略

大月町の創生は

町民と共に進める／町長

問　総合戦略の策定にあたり、住民代表などの有識者で「大月町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定有識者会議」を設置しているが、会議開催経過、協議内容と町民への周知は。

岡田町長　平成27年6月から28年2月の策定まで3回の会議を開催しています。本町の人口推計、産業構造等のデータを分析し、戦略の基本的な方向についての個別アンケート、策定後のPDCAサイクルによる検証方法について協議を行いました。

久松まちづくり推進課長　推進会議で見直した総合戦略の概要版も周知のため全戸配布し、その他変更点等は広報で周知しています。

問　人口減少の要因と対応策は。

岡田町長　年間出生者10名程度に対し、亡くなる方が100名を超すという自然減と、転入者と転出者の差が60名前後という社会減の差が要因となっています。

対策として、町内に不足している定住住宅の確保を進め、転入者の増加を図るため住宅の斡旋、公共職業紹介所の開設で働く場の紹介、移住者が住み続けられる環境づくりに取り組んでいます。

働く場の紹介で移住者の定住を
（役場２階　ぽっちりサロン）

問　新規の商品開発、地産地消・地産外商、販売力強化の取り組みは。

岡田町長　大月町地域グルメ研究開発委員会、マグロのまち大月町推進協議会などで新商品やマグロが食べられる仕組みづくりに取り組んでいます。ふるさと納税制度の活用で地場産品の販売ルートの充実、地産地消では賑わい創出や学校給食など公共施設での地域食材の利用を進めています。地産外商ではふれあい市を中心とした販売、外商に取り組み、ふるさと振興公社の事業収入・ふれあい市の売上高ともに増加していることで、出品者に波及効果があり、地域経済向上につながっていると考えています。

問　本町への移住者、新規就業者への支援はあるが、後継者支援がない。総合戦略の中に入れるべきだ。

岡田町長　後継者支援も踏まえながら網羅していかなければならないと考えています。

優良作物

栗の栽培を

地区に打診／町長

問　産業建設常任委員会で優良作物として栗を提案している。栗の生産は土地の形状を選ばず、低樹形とし落ちた実を収穫でき、高齢者でも栽培できる。苗木を補助し普及を進めるべきだ。

岡田町長　栗の植栽、栽培を打診している地区がある。実施となれば農業分野の1つとして支援していかなくてはならないと考えています。

人口減少対策

このままでいいのか

厳しい状況と判断／町長

中平　順三 議員

問　「大月町まち・ひと・しごと創生総合戦略」5カ年計画を策定し、2060年の本町の人口目標を3008人に設定している。4つの基本目標の1つ「新しい人の流れをつくる」で、人口の社会増減マイナス40名（平成22～26年）を平成31年度0名と目標設定しているが、平成25年からの5年間の実績はマイナス53名と悪化。出生数についても過去10年間で平成24年をピークに減少し、平成29年はわずか13名である。人口の推移もこの10年間で年平均12.9名減少している。このまま推移すると大月町は消滅する危機的状況である。このままでいいのか。

岡田町長　将来人口3008人は社会減の解消と出生数を年間30名に設定して推計した人口です。達成は非常に厳しい数値であると認識していますが、若者が住みやすい、子育てしやすいまちづくりを目指し、目標達成に向け努力していきます。

子どもは将来を担う

問　移住促進事業を取り入れ、移住支援員1名、地域おこし協力隊1名を配置し、移住者を積極的に受け入れているものの、実績は平成25年から5年間で47組70名である。今後どのように取り組むのか。

岡田町長　この5年間の実績は低調であると認識しています。現在取り組んでいる住宅の紹介など、移住促進事業を拡充し、本町を選んでいただける施策や助成等を検討していきます。

問　国は子育て世代への支援策として、平成31年10月から消費税増税に伴い、幼児教育無償化を目指している。対象外である0～2歳児に対して、町独自で完全無償化してはどうか。

岡田町長　本町の場合は1歳児から入園しており、1歳児から無償化の方向で作業を進めています。

ふるさと納税基金の使途

目玉政策としては

今後検討する／町長

問　平成30年3月末のふるさと納税基金残高は1億2000万円余りである。本年度も1億3000万円予算化しており、今後も1億円以上のふるさと納税があると想定している。

返礼品をはじめ関連費用を差し引いても50％程度の積み増しができると思う。例えば、出生祝金に100万円や返済の無い奨学金導入の財源とし、岡田町政の目玉政策としてはどうか。

岡田町長　納税者が目的を持った基金ということで、目的を無視した形は取れない状況です。出生祝金の増額や返済の無い奨学金導入は明言できないが、今後は納税者の意見を踏まえながら一極集中で使用できないか検討していくつもりです。当初予算ではそのことも踏まえ、子育て支援対策に踏み込んでいきたいと思っています。

浦木　秀雄議員

地域資源の活用と雇用の創出

起業支援を積極的に

県と一緒に支援する／町長

問　地域資源の竹をパウダーにして販売し、雇用の拡大につなげたいと取り組んでいる人たちがいる。住みたい、住める、住んでよかったまちづくりを進めるためにも、初期投資、設備導入を行うための国や県の補助金制度の検索や窓口業務、町独自の補助金等の予算化、事業化拠点となる町内の遊休建物や施設の検索の支援をすべきではないか。

地域資源としての竹

岡田町長　初期投資等に係る補助金の活用は、県の産業振興計画のアクションプランに位置づけて支援できると考えます。

　また、窓口業務は、県と一緒になった助言・支援をしていきます。

　初期投資、資金調達は、まちづくり総合支援事業補助金と小さなビジネス支援事業で支援していきたいと考えています。

町長の寄付行為

知らずにやったのか
知らなかったにはならない

／町長

問　町長名でのフラフ、柿羊羹、相撲の寄付は公職選挙法に抵触することを知らなかったのか。

岡田町長　柿羊羹は妻が配布したので、私が関与したことはありません。相撲の寄付も私が指示した事実はありませんが、知らなかったということにはならない。大変脇が甘かったと反省しています。

問　減給10％2カ月の根拠は。また、裁判所が黒と判断した時の対応は。

岡田町長　10％2カ月の根拠は私自身が判断したものです。今度どうするかは、裁判所の判断が出た時に私が判断します。

公共工事の透明性

詳しい入札情報の公開を

来年度見直す／総務課長

問　公共工事を発注した場合、入札に参加した企業名、入札・落札金額、落札率、予定・最低価格等の詳しい情報を議会や町のホームページで必ず公表すべきではないか。

浜田総務課長　県が行っている指名業者の参加状況の公表も含め、様式・内容等の見直しを来年度実施するようにしています。

取り壊しが決定された旧大月分校

問　亀尾地区の個人の山が崩れ、ビニールハウスに土砂が流入し、公費で撤去したという情報があるが事実か。

岡田町長　事実です。ハウスの裏に土水路があり青線と判断しましたが、再確認で青線でないと報告を受けました。災害という特殊なケースには判断も微妙になりますが、公共性も考慮し今後も慎重に対応します。

みんなの広場 私もひとこと

働く場を作ってほしい

川村　安弘（やすひろ）さん
真佐代（まさよ）さん（芝）

昔は大月町にも、機械部品、電気関係、縫製工場など、社会保険もある安定した職場がありました。車の免許を持っていなくても自転車やバス通勤で、仕事が終われば近くの店で買い物をし、町内の店も潤っていました。今は働く所がありません。

自然豊かな大月町で、漁業、農業、取れたての食材を加工する工場ができれば、そこで働く人たちは安定した給料が貰え、帰って来たい子どもたちにも良いことになるのでは。帰って来られなかった子どもたちのもとへ行かざるを得なかった親も、働く所さえあればの思いだったのでは。住み続ける私たちも年々寂しくなります。

生き残る農業

笹木　章弘（ふみひろ）さん（内平）

昭和52年、テレビで静岡県の60歳過ぎの夫婦が20アール（じ）の畑で自然薯（ねんじょ）を栽培しているのを見ました。自分もいつかやってみたいと夢を抱いて、平成24年から栽培面積を増やしながらやってきました。

27年から自然薯とスイカ専業農家として農業一本に取り組んできました。31年からさらに菊芋栽培を追加予定です。ビタミン、ミネラルを多く含んだ自然薯、平均糖度13度超えのスイカ、自然のインスリン菊芋。いずれも安心・安全でご賞味いただけるよう心掛けを徹底し栽培しております。

あくまで3品の専門農家で進み、後継者に引き継いでもらえるよう安定収入を目指します。

こんにちは

大月の海にほれ込んで

柏島　神田（かんだ）　優（まさる）さん

子どもたちが作った産卵床にモイカがいっぱい

NPO法人「黒潮実感センター」の神田優さんを訪ねました。

神田さんは高知市出身の魚類の研究者。柏島の海と島人の人情にほれ込み、移住して21年になるそうです。

世界の柏島

そんな柏島の海には、その数日本一の1150種もの魚がすんでいて、世界に誇れる海だと語ってくれました。

黒潮実感センターでは柏島を「島がまるごと博物館」と捉え、人と海が共存できる「里海」のモデルを作ろうと活動しています。

大月や全国の子どもたちを対象にした「海の寺子屋」や体験学習、エコツアーを開催し、自然の素晴らしさを実感してもらう取り組みをしています。また、漁業者やダイバー、森林組合、大月小学校の子どもたちと一緒に「海の中の森づくり」として、間伐材でモイカの産卵床を作り、モイカを増やす取り組みもしています。

今後の抱負は

大月の子どもたちに環境学習や自然学習などを20年ほど行ってきました。その子どもたちが地元大月の魅力に触れ、興味関心を持ち、この地を誇りに思ってほしい。そして、先人から受け継いだこの海を守り、次の世代にバトンを渡したい。それを夢見て、地道に子どもたちと関わっていきたいです。

（取材・浦木秀雄）

編集後記

1989年1月7日、当時の内閣官房長官（のちの第84代内閣総理大臣）小渕恵三氏が墨痕鮮やかな「平成」の元号を発表した。希望と期待の中、翌日8日から平成に、その平成が2019（平成31）年4月30日に幕を閉じる。

平成は激動に次ぐ激動の時代だったように思う。次々と起こる自然災害、多くの社会問題、これからも厳しく起こるだろう。5月から新元号となり、新たな時代の幕開けだ。どのような時代になろうとも主体は自分自身だ。自他共の幸せのために努力する。

（久米里志）

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73-1682

印刷　有限会社　宿毛印刷

議会広報常任委員会

委員長　山本　恒和
副委員長　安原　明彦
委員　浦木　秀雄
委員　野村　満久
委員　久米　里志